

平成30年度 事業報告書

社 会 福 祉 法 人 天 光 会
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム 恵 光 園
短 期 入 所 生 活 介 護 事 業 所 恵 光 園
デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー 恵 光 園
居 宅 介 護 支 援 事 業 所 恵 光 園
ケ ア ハ ウ ス 恵 光 園

平成30年度 社会福祉法人天光会 事業報告

【法人理念】

福祉を通じて、人との絆を深め、子供から高齢者まで、福祉に携わる地域社会を目指します。

1. 活動内容

理事6名 監事2名 評議員7名

理事会開催 定時評議員会開催 監事監査の実施

- ①平成29年度決算報告及び事業活動報告、監査報告
- ②平成30年度補正予算の承認（年2回）
- ③平成31年度予算案及び事業計画案の承認
- ④定款の変更
- ⑤就業規則の変更
- ⑥給与規定の変更
- ⑦育児介護休業等に関する規則の変更
- ⑧運営規定の変更
- ⑨契約書等の承認
- ⑩市中銀行からの借入金の承認
- ⑪人事
- ⑫業務執行報告（年2回）

2. 特別養護老人ホーム恵光園シャイニー中央開設

- ①平成30年7月1日に長期入所80床、短期入所20床をオープン

職員数（開設時）

施設長1名 嘱託職員1名 施設ケアマネージャー1名 生活相談員2名

管理栄養士1名 看護師6名 介護員46名 機能訓練指導員1名 事務員1名

保育士3名

- ②平成30年11月1日に小規模多機能型居宅介護「ほとりの家」をオープン

登録人数18名（うち通所9名、宿泊3名）

職員数（開設時）

管理者1名 介護員8名 看護師1名

③事業の収支状況

| 収入 | | 支出 | | (単位：千円) |
|-----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 福祉医療機構借入金 | 1,070,300 | 建築工事費 | 1,320,840 | |
| 補助金交付金 | 331,400 | 設計管理費 | 76,000 | |
| 千葉興業銀行借入金 | 120,000 | 設備備品整備費 | 91,558 | |
| 自己資金 | 180,658 | 土地取得資金 | 213,960 | |
| 合 計 | 1,702,358 | 合 計 | 1,702,358 | |

3. 地域における公益的な取組

買物支援サービス事業（エリア：大宮台1・2丁目）

| 平成30年 | 実施日数 | 参加総数 | 協力総数 | 運転手総数 |
|-------|------|------|------|-------|
| 4月 | 4日 | 24名 | 4名 | 4名 |
| 5月 | 4日 | 26名 | 4名 | 4名 |
| 6月 | 4日 | 28名 | 4名 | 4名 |
| 7月 | 4日 | 31名 | 4名 | 4名 |
| 8月 | 5日 | 34名 | 5名 | 5名 |
| 9月 | 4日 | 26名 | 4名 | 4名 |
| 10月 | 4日 | 25名 | 4名 | 4名 |
| 11月 | 5日 | 36名 | 5名 | 5名 |
| 12月 | 4日 | 28名 | 4名 | 4名 |
| 1月 | 4日 | 28名 | 4名 | 4名 |
| 2月 | 4日 | 29名 | 4名 | 4名 |
| 3月 | 3日 | 22名 | 3名 | 3名 |
| 合 計 | 49日 | 337名 | 49名 | 49名 |

平成30年度 特別養護老人ホーム恵光園 事業報告書

・平成30年度の稼働率

稼働率(前年比)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 平成30年度 | 100% | 98% | 100% | 94% | 96% | 94% | 95% |
| 平成29年度 | 96% | 98% | 97% | 94% | 96% | 98% | 97% |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 平成30年度 | 96% | 97% | 95% | 98% | 98% | | |
| 平成29年度 | 97% | 99% | 97% | 95% | 96% | | |

| | 目標値 | 実績 |
|--------|-----|-----------|
| 稼働率 | 98% | 97% |
| 平均要介護度 | | 男3.7 女3.9 |
| 新規入居者数 | | 12名 |
| 退去者数 | | 14名 |
| 年間入院件数 | | 25名 |
| 看取り対応 | | 8名 |

30年度は、長期入所に関して、ロングショートを利用していた方でなく、主に病院や老健、自宅で生活していた方を対象に空所となったところを補った。
 新規入所12名のうち、ロングショートからは4名、外部からは8名だった。
 外部からの入所がスムーズに行えず、空所が1ヶ月以上空いてしまったこともあった。
 今後できるだけスムーズに、空所期間が短く入所できるよう、家族やケアマネなどと連携を固め対応していく。
 入居申し込みで待機している方が少ない為、病院や老健、居宅にFAXを送信した。
 現状少ない状態は続いている為、今後もファックスなどで情報を発信していく。

・苦情について

30年度は、家族や入居者からの苦情について、1件あり。
 内容としては、職員による入居者への対応についての苦情であった。
 家族には謝罪し、職員に対しては、主任から状況確認後指導。
 苦情については各部署連携を固め、できるだけ早く迅速に対応することを心がけていきたい。

・事故報告について

千葉市に提出した事故報告書は、6件。
 内容は骨折が5件、誤嚥が1件の合計6件。
 事故防止委員会でもあがっていた職員が関わるもののうち、防げる事故については、0を目指していけたらと思う。

・個別ケアについて

食事・入浴・排泄に関しては、個々の身体状況に合わせたケアをしている。
 身体の変化や本人の希望で変更する際にはすぐに話し合いの場を設け対応できていた。

・年間行事について

園で行う大きな行事は、各部署連携し、前日までに準備ができており、しっかりできていたと思う。
 各ユニットで個別で行う外出や外食、買い物、レク等については、ユニットによって大きく賑りがあった。
 どのユニットも、その時期に合った行事企画をしてもらい、入居者もその家族も喜ばれていた。

平成30年度 ユニット型特別養護老人ホーム恵光園 事業報告書

・平成30年度の稼働率

稼働率(前年比)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|--------|-----|------|------|------|------|-----|------|
| 平成30年度 | 99% | 98% | 96% | 98% | 96% | 99% | 100% |
| 平成29年度 | 98% | 99% | 100% | 100% | 98% | 97% | 92% |
| | | | | | | | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | |
| 平成30年度 | 97% | 100% | 100% | 100% | 100% | | |
| 平成29年度 | 99% | 100% | 100% | 99% | 98% | | |

| | 目標値 | 実績 | |
|--------|-----|------|------|
| 稼働率 | 98% | 99% | |
| 平均要介護度 | | 男3.1 | 女3.5 |
| 新規入居者数 | | 5名 | |
| 退去者数 | | 4名 | |
| 年間入院件数 | | 7名 | |
| 看取り対応 | | 2名 | |

30年度は、長期入所に関して、ロングショートを利用していた方でなく、主に病院や老健、自宅で生活していた方を対象に、空所となったところを補うつもりでしたが、新規入所5名の全員がショートからの移動であった。
入所はスムーズに行えたが、代わりにショートの空所ができてしまう為、次年度の課題としてショートと連携を図っていきたい。
入居申し込みで待機している方が少ない為、病院や老健、居宅にFAXを送信した。
現状少ない状態は続いている為、今後もファックスなどで情報を発信していく。

・苦情について

30年度は、家族や入居者からの苦情について、別館で3件あり。
3件全てが、職員による入居者への対応についての苦情であった。
各家族には謝罪し、職員に対しては、主任から状況確認後に指導。その後家族からは苦情なし。
苦情については各部署連携を図り、できるだけ早く迅速に対応することを心がけていきたい。

・事故報告について

千葉市に提出した事故報告書は、別館で4件。
内容は骨折が2件、切り傷が1件、誤薬が1件。
事故防止委員会でもあがっていた職員が関わる防げる事故については、0を目指していけたらと思う。

・個別ケアについて

食事・入浴・排泄に関しては、個々の身体状況に合わせたケアをしている。
身体の変化や本人の希望で変更する際には、すぐに話し合いの場を設け対応できていた。

・年間行事について

園で行う大きな行事は、各部署連携し、前日までに準備ができており、しっかりできていたと思う。
各ユニットで行う個別の外出や外食、買い物、レク等については、ユニットによって大きく盛りがあった。
どのユニットも、その時期に合った行事企画を計画してもらい、入居者やその家族は喜ばれていた。

平成30年度 栄養課事業報告

■食事サービスの充実

春: たけのこご飯、菜の花和え物、イチゴババロアなど

夏: そうめん、冷やし中華、里芋のずんだ和え、すいかなど

秋: 鮭ときのこのホイル焼き、さんま、梨など

冬: おでん、味噌ラーメン、マカロニグラタンなど

季節の食材を献立に組み込みました。

行事食と御馳走の日は、毎月2回利用者様の好きな刺身、天ぷらを中心に季節の食材を入れ提供できました。今後も皆さんに喜んでいただけるよう食事内容を考えていきたいと思えます。

■栄養管理

食事摂取量や体重減少が見られる方への対応が十分ではなかったように思えます。

カンファレンス等にも積極的に参加し、利用者様の状態を細かく把握できるよう動いていきたいと思えます。介護員、医務、相談員との連携を図り、早めの対応を心がけたいと思えます。

■療養食の充実

疾患を持つ利用者様が多くなっているため、医師からの指示がある方は病気の悪化を防いでいけるよう治療のための制限食の提供は今後も継続的に行ってまいります。

■献立会議

献立会議で各部署から出た意見に対して、レオックと改善できるよう話し合いを行い変更しました。会議で決定した事や、連絡事項を全体に伝える事が難しかったので、その部分の改善と、栄養に関する知識の普及を行ってきたいと思えます。

■衛生管理・安全管理の徹底

厨房の中の清掃は常に行うようレオックには指導しています。定期的に換気扇、床の清掃を行うなど、厨房内の清掃には力を入れていきたいと思えます。

■備蓄食品

防災倉庫内に食品の備蓄はされていますが、賞味期限切れが近いものの活用方法が不十分だったので、その部分の調整と、実際に災害が起きた時に職員が食事提供出来るように周知徹底を図ってきたいと思えます。厨房用の災害時対応マニュアルも作成中なので進めていきたいと思えます。

■他職種との連携の徹底

他職種と日々の連絡や会議、カンファレンス等を通じて日常的な情報交換・共有の徹底が行えればと思えます。

平成30年度荷重平均栄養所要量

平成31年3月31日現在

| エネルギー (kcal) | 蛋白質 (g) | 脂質 (g) | カルシウム (mg) | 鉄分 (mg) | レチノール当量 (μ g) | ビタミンB1 (mg) | ビタミンB2 (mg) | ビタミンC (mg) | 塩分 (g) |
|-----------------|------------|-----------|---------------|------------|-----------------------|----------------|----------------|---------------|-----------|
| 1526 | 60.0 | 40.2 | 600 | 6.5 | 575 | 0.83 | 1.02 | 100 | 7.5 |

平成30年度給与栄養素量

| | エネルギー (kcal) | 蛋白質 (g) | 脂質 (g) | カルシウム (mg) | 鉄分 (mg) | レチノール当量 (μ g) | ビタミンB1 (mg) | ビタミンB2 (mg) | ビタミンC (mg) | 塩分 (g) |
|-----|-----------------|------------|-----------|---------------|------------|-----------------------|----------------|----------------|---------------|-----------|
| 4月 | 1572 | 60.4 | 43.5 | 491 | 6.6 | 537 | 0.78 | 0.89 | 88 | 9.6 |
| 5月 | 1584 | 61.3 | 42.9 | 498 | 7 | 532 | 0.77 | 0.92 | 85 | 9.7 |
| 6月 | 1562 | 60.1 | 42.3 | 502 | 6.7 | 531 | 0.72 | 0.9 | 90 | 9.7 |
| 7月 | 1569 | 60.3 | 43.3 | 510 | 6.8 | 534 | 0.73 | 0.91 | 87 | 9.4 |
| 8月 | 1570 | 60.6 | 44.7 | 503 | 6.7 | 520 | 0.73 | 0.88 | 88 | 9.6 |
| 9月 | 1584 | 61.6 | 45.9 | 512 | 6.7 | 500 | 0.74 | 0.94 | 86 | 9.4 |
| 10月 | 1570 | 61.4 | 45.1 | 482 | 6.7 | 533 | 0.73 | 0.91 | 86 | 9.6 |
| 11月 | 1574 | 60.4 | 43.1 | 490 | 6.8 | 522 | 0.76 | 0.88 | 87 | 9.3 |
| 12月 | 1577 | 60 | 43.7 | 492 | 6.9 | 520 | 0.77 | 0.89 | 89 | 9.6 |
| 1月 | 1582 | 60.8 | 43.4 | 502 | 6.6 | 499 | 0.75 | 0.88 | 88 | 9 |
| 2月 | 1577 | 60.9 | 44.6 | 508 | 7 | 512 | 0.74 | 0.91 | 87 | 9 |
| 3月 | 1578 | 60.9 | 44.3 | 512 | 7 | 521 | 0.73 | 0.90 | 87 | 9 |
| 平均 | 1575 | 60.8 | 43.9 | 500 | 6.8 | 522 | 0.75 | 0.90 | 87 | 9.4 |

形態別喫食者数

●特養(長期入所) 50名

| 主食 | | 副食 | | 汁物 | | 特別食 | |
|------|------|------|------|---------|------|------|------|
| (形態) | (人数) | (形態) | (人数) | (形態) | (人数) | (形態) | (人数) |
| 常食 | 18 | 常菜 | 15 | 常菜(きざみ) | 33 | 経管栄養 | 5 |
| 軟ごはん | 7 | 粗きざみ | 5 | 超きざみ | 2 | | |
| 全粥 | 17 | きざみ | 16 | 汁のみ | 0 | | |
| ミキサー | 1 | 超きざみ | 6 | とろみ汁 | 8 | 空所 | 1 |
| おにぎり | 0 | ミキサー | 1 | 汁なし | 0 | 入院者 | 1 |

●ユニットケア(長期入所) 30名

| 主食 | | 副食 | | 汁物 | | 特別食 | |
|------|------|------|------|---------|------|------|------|
| (形態) | (人数) | (形態) | (人数) | (形態) | (人数) | (形態) | (人数) |
| 常食 | 13 | 常菜 | 13 | 常菜(きざみ) | 26 | 経管栄養 | 0 |
| 軟ごはん | 4 | 粗きざみ | 4 | 超きざみ | 2 | | |
| 全粥 | 13 | きざみ | 9 | 汁のみ | 0 | | |
| ミキサー | 0 | 超きざみ | 4 | とろみ汁 | 2 | | |
| おにぎり | 0 | ミキサー | 0 | | | 入院者 | 0 |

●ケアハウス 15名

| 主食 | | 副食 | | 汁物 | |
|------|------|------|------|------|------|
| (形態) | (人数) | (形態) | (人数) | (形態) | (人数) |
| 常食 | 13 | 常菜 | 12 | 常菜 | 15 |
| 軟ごはん | 1 | 粗きざみ | 2 | | |
| 全粥 | 1 | きざみ | 1 | | |

平成30年度業務内容

| | 選択食 | ごちそうの日 | 行事食 |
|-----|-----------------------------|---|---|
| 4月 | オムライストマトソース オムライスクリームソース | ご飯 すまし汁 刺身盛り合わせ 茶碗蒸し 塩昆布和え フルーツあんみつ | 『昭和の日』 たけのこご飯・すまし汁 天ぷら 里芋のそぼろあんかけ 豆腐とアボカドのサラダ いちご |
| 5月 | かき揚げ丼 うな玉丼 | 大人お子様ランチ (ピラフ・トンカツ・星型ポテト・オムレツ スパゲティナポリタン) サラダ コーヒーゼリー | 『母の日』 ちらし寿司・みそ汁 かぶとふきの煮物 菜の花の柚子和え 和風ババロア |
| 6月 | 麻婆茄子 手作りかに玉 | かにちらし寿司 みそ汁 豆腐とひき肉の包み揚げ 南瓜のいとこ煮 紫陽花ゼリー | 『父の日』 赤飯 みそ汁 天ぷら 煮物 マリネサラダ フルーツゼリー |
| 7月 | ミラノ風カツレツ 白身魚のブイヤベース風 | うなちらし 豚汁 山芋の短冊揚げ 夏野菜の香味和え すいか | 『七夕』 ゆかりご飯・すまし汁 天ぷら しんじょうと茄子の煮物 里芋ずんだ和え 七夕ゼリー |
| 8月 | チキンロール マグロフライ | 『夏祭り』 焼きそば 豚汁 鶏肉の唐揚げ その他:屋台メニュー | 『お盆』 そうめん てんぷら 夏野菜のマリネ すいか |
| 9月 | カレーコロッケ & エビフライ 白身魚の香草焼き | 鮭ちらし すまし汁 いとこ煮 アボカドとトマトのポン酢和え キウイフルーツ | 『敬老の日』 赤飯・すまし汁 天ぷら 茶碗蒸し 梨 |
| 10月 | よだれ鶏 鮭ときのこのホイル蒸し | ご飯・みそ汁 刺身盛り合わせ 大学芋風 アボカドと豆腐のサラダ 水ようかん | 『体育の日』 ご飯 すまし汁 天ぷら かぶとしんじょうの煮物 マロンババロア |
| 11月 | ラフテー丼 鮭そぼろ丼 | 『創立記念日』 ご飯 すまし汁 刺身盛り合わせ 煮物 フルーツみつ豆 | 『明治天皇の誕生日』 五目ご飯 すまし汁 天ぷら しんじょうの煮物 白和え キウイフルーツ |
| 12月 | あじフライ & クリームコロッケ フライドチキン | ご飯 コーンクリームスープ フライ盛り合わせ カブのトマト煮 ブロッコリーとホタテのサラダ コーヒーゼリー | 『クリスマス』 赤飯 すまし汁 刺身盛り合わせ 茶碗蒸し 長葱のぬた オレンジ |
| 1月 | カレイのお好み焼き風 鶏天 | ご飯・みそ汁 天ぷら ひろうずのあんかけ なすの胡麻醤油和え りんごのコンポート | 『元旦』 赤飯・すまし汁 甘鯛の西京漬け焼き・昆布巻き 栗きんとん・伊達巻き 紅白なます |
| 2月 | ミートスパゲティ 明太クリームパスタ | キムチチャーハン ワンタンスープ 海老マヨ 点心三種 フルーツ杏仁 | 『節分』 ご飯・すまし汁 刺身盛り合わせ 茄子の味噌炒め しその実和え みかん |
| 3月 | 石狩鍋 春キャベツとえび団子のチゲ風 | ご飯・すまし汁 刺身盛り合わせ 菜の花の柚子和え 茄子の田楽 キウイフルーツ | 『ひな祭り』 ちらし寿司 すまし汁 天ぷら 茶碗蒸し いちごババロア |

特別養護老人ホーム 恵光園
医務室実績報告

平成30年度

平成30年度 医務室の実績報告をさせていただきます

| | |
|------------------|-----------------------------------|
| * 救急搬送者…………… | 8名 |
| * 入院者数…………… | 22名 |
| * 死亡者数…………… | 12名 |
| * 外来受診者数…………… | 360名 |
| * 回診…………… | 46回/年 1500名/年 1回あたり32名 |
| * 胃ろう交換者…………… | 5名 |
| 《 処置 》 | |
| * 褥瘡…………… | 174件/月 |
| * 包帯交換…………… | 257件/月 |
| * 軟膏…………… | 582件/月 |
| * インシュリン注射…………… | 4名 |
| * 血糖チェック …………… | 5名 |
| * バルン留置管理…………… | 6名 |
| * 膀胱洗浄…………… | 2名 |
| * 吸引(緊急時を除く)…… | 5名 |
| 《 その他 》 | |
| * 利用者健診…………… | 12月実施 |
| * インフルエンザ接種…………… | 11月～12月で利用者・職員に実施 |
| * 園内研修…………… | 酸素・吸引・経管栄養の扱い方 救急法・感染症予防について対応 |

今年度は①褥瘡について②感染症③吸引・酸素・救急法④ターミナルケア についての園内研修を担当します
また薬局主催による勉強会なども企画しスキルアップに努めます

以上

平成31年3月末日

短期入所生活介護事業所 恵光園
H30年度事業報告書

〈 反省 〉

1. 今年度の稼働率 91.4%

本館 91.4% 別館 91.6%

2. 退所者

| | 本館 | 別館 | 計 |
|-------|-----|----|----|
| 長期入所へ | 7名 | 4名 | 11 |
| 他施設へ | 5名 | 2名 | 7 |
| 入院退所 | 5名 | 2名 | 7 |
| 自宅へ | 0名 | 0名 | 0 |
| 死亡 | 1名 | 0名 | 1 |
| 計 | 18名 | 8名 | 26 |

* 今年度の直接長期入所件数は8件。

3. 新規入所者

| | 本館 | | | 別館 | | |
|----|-----|-----|-----|----|----|-----|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| LS | 6名 | 7名 | 13名 | 7名 | 3名 | 10名 |
| SS | 4名 | 3名 | 7名 | 2名 | 6名 | 8名 |
| 計 | 10名 | 10名 | 20名 | 9名 | 9名 | 18名 |

4. 照会件数・内訳及び利用件数

| 内 訳 | 本館 | | 別館 | | 合計 | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 照会数 | 利用数 | 照会数 | 利用数 | 照会数 | 利用数 |
| あんしん | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 |
| 他事業所居宅 | 36 | 6 | 31 | 12 | 67 | 18 |
| 当園 " | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| 地域連携室 | 18 | 3 | 4 | 1 | 22 | 4 |
| 他施設 | 6 | 2 | 2 | 1 | 8 | 3 |
| 家族紹介 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| ネット・見学等 | 7 | 1 | 6 | 0 | 13 | 1 |
| 計 | 71 | 12 | 46 | 16 | 117 | 28 |

・7月6名、11月3名、3月3名と退所者が続いた事もあり、7月～1月の間は稼働率に影響が出てしまった。
地域包括支援センター、居宅、地域連携室等へ空き情報を随時FAX及び連絡し、空床が続く事のないよう早期に対応する。
男性女女性利用者・居室タイプ別の問い合わせに対し、逃さないようにする。
課長・長期相談員との連携、入所検討委員会での内容に沿い居室変更・新規入所者の対応等スムーズにできるよう努める。

5. 家族とのコミュニケーションについては、日頃からの連絡・報告等対応出来つつある。

面会時家族の考え等確認・共有できるよう時間の許す限り話し合いを行う。

対応に関し苦情を受けたケースがあり、対応全般に関し再検討を行った。今後同様のケース再発や他のクレームを受ける事がないよう、日頃から各部署と連携しながら職員全体で注意していく。

6. 整髪・衣服等利用者の身だしなみ及び車椅子や居室環境に関し、未だ不十分な点があり改善が必要。利用者の薬に関し、誤薬・落薬が度々発生。原因究明・改善策の検討及び再度マニュアルの周知・徹底。薬に携わる全職員がしっかり意識し対応していく。

持参薬の一包化はほぼ浸透してきている。今後も危険のないようにしていく。

7. 年間行事計画の買い物・外出については実行できなかった部分も多く、次年度の課題として工夫し細やかなサービスをしていきたい。また、行事以外での個別のニーズ対応も検討・実施していく。

平成30年度 通所介護事業 総合事業 実績報告書

【実績】・営業日数

| | | | |
|-----|------|-------------------|--------------------|
| H28 | 311日 | 稼働率平均 | 利用延べ人数 |
| H29 | 311日 | H28 62.0% | H28 4,824人 |
| H30 | 310日 | H29 63.6% (1.6%増) | H29 4,946人 (122人増) |
| | | H30 69.9% (6.3%増) | H30 5,421人 (475人増) |

・新規契約数

| | | | |
|-----|---------|------------|-----------------|
| H28 | 16人 | 利用中止者数 | 全体請求額 |
| H29 | 19人 3人増 | H28 12人 | H28 41,684,272円 |
| H30 | 11人 8人減 | H29 12人 0人 | H29 45,589,910円 |
| | | H30 8人 4人減 | H30 51,221,055円 |
| | | | 差額 3,905,638増 |
| | | | 差額 5,631,145増 |

【評価】

・2018年度の介護報酬の改定率はプラス0.54%となった。

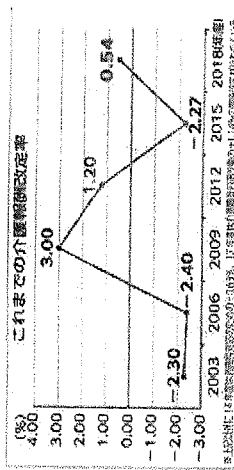
臨時改定を除けば介護報酬のプラス改定は12年度改定以来、6年ぶり。

一方で、通所介護はマイナス0.5%相当の給付適正化も実施されるため、厳しい改定となった。
このことから、通所介護では利用回数を増やし稼働率を上げるよう努めた。

・今年度の事業目標として稼働率を上げることが掲げられた。その為に安定した利用者の確保と現在利用している利用者の体調管理に配慮し、利用中止者を減らす努力を行った。また、医療機関との連携も図り医療依存度の高い利用者も可能な限り受け入れられることで増収につながった。

・増収になった反面、職員への負担が大きくなり、事故の発生やサービスの質の低下等、新たな課題が浮き彫りになった。また、年々利用者のニーズが多様化しており、職員のスキル向上が求められてきている。

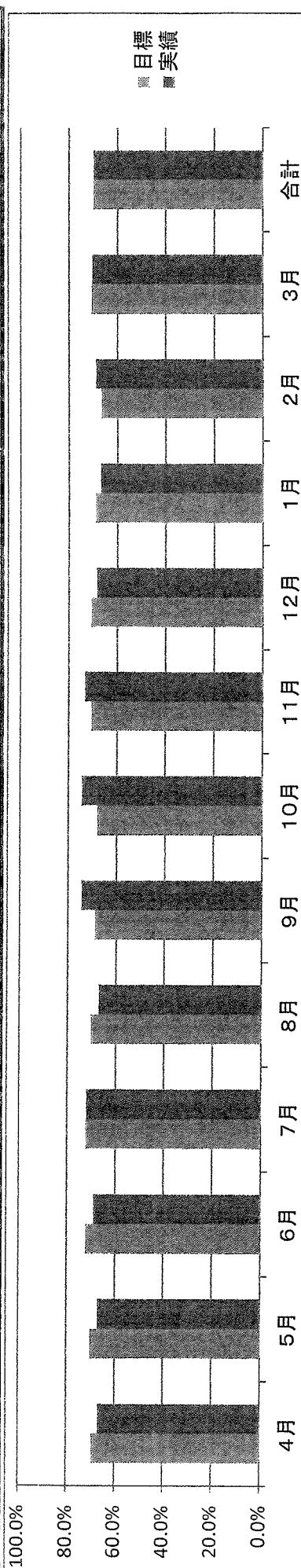
・今後の課題としては利用者が安心してサービスが利用できるよう、職員全体で業務改善を行うと共に、職員の働きやすい職場環境の整備も同時に検討が必要である。



平成30年度 デイサービスセンター事業稼働率報告書

デイサービス利用者1日定員数 25名 デイサービス利用者計画推進率 目標稼働率 70%

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1日定員 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 300 |
| 稼働日数 | 25 | 27 | 26 | 26 | 27 | 25 | 27 | 26 | 26 | 25 | 24 | 26 | 310 |
| 延べ人数 | 625 | 675 | 650 | 650 | 675 | 625 | 675 | 650 | 650 | 625 | 600 | 650 | 7750 |
| 目標延べ人数 | 435 | 475 | 470 | 470 | 475 | 430 | 460 | 460 | 460 | 430 | 400 | 460 | 5425 |
| 稼働予定率 | 69.6% | 70.4% | 72.3% | 72.3% | 70.4% | 68.8% | 68.1% | 70.8% | 70.8% | 68.8% | 66.7% | 70.8% | 70.0% |
| 利用延べ人数 | 419 | 453 | 448 | 469 | 453 | 466 | 503 | 476 | 445 | 418 | 413 | 458 | 5421 |
| 稼働率 | 67.0% | 67.1% | 68.9% | 72.2% | 67.1% | 74.6% | 74.5% | 73.2% | 68.5% | 66.9% | 68.8% | 70.5% | 69.9% |



年間行事報告

| | |
|---------------|----------------|
| 4月 お花見 | 10月 秋の運動会 |
| 5月 母の日 菖蒲湯 | 11月 食事会 |
| 6月 父の日 | 12月 クリスマス会 餅つき |
| 7月 七夕祭り | 1月 書初め 正月行事 |
| 8月 夏祭り 恵光園納涼祭 | 2月 初詣 節分 すいとん |
| 9月 味覚狩り 敬老会 | 3月 ひな祭り 和菓子作り |

| 毎月行事 | 慰問 | ボランティア | 委員会 | 研修 |
|----------|-------------|--------|-------------|--------|
| 料理教室 | 大正琴 | 囲碁 | 身体拘束・虐待(月1) | 園内研修 |
| 買い物行事 | 尺八 | 将棋 | 事故防止(月1) | 月1回 |
| 生け花教室 | ブラスバンド | 麻雀 | 感染症予防(月1) | 外部講師研修 |
| セレクトランチ | 紙芝居 | 書道 | 献立(月1) | 年1回 |
| ティーパーティー | 歌・カラオケ | 手芸 | 防災(月1) | 外部研修 |
| お風呂の日 | フラダンス・フラメンコ | 傾聴 | 労働衛生(月1) | 適時 |
| 誕生会 | 頭の体操 | 学生ボラ | 生活向上(月1) | |

平成30年度 居宅介護支援事業所 事業報告

山崎 眞理子 葛岡 俊枝

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 計 |
|---------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 山崎 | 24 | 24 | 24 | 21 | 20 | 20 | 22 | 21 | 23 | 22 | 23 | 24 | 268 |
| 葛岡 | 24 | 24 | 22 | 21 | 20 | 21 | 22 | 23 | 21 | 22 | 22 | 24 | 266 |
| 介護件数 | 48 | 48 | 46 | 42 | 40 | 41 | 44 | 44 | 44 | 44 | 45 | 48 | 534 |
| 稼働率(%) | 82.9 | 84.3 | 82.9 | 78.6 | 76.4 | 76.4 | 80.7 | 80.7 | 80.7 | 80.7 | 81.4 | 85 | 80.9 |
| 山崎 | 11 | 12 | 13 | 15 | 16 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 165 |
| 葛岡 | 9 | 10 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 | 10 | 9 | 126 |
| | 20 | 22 | 24 | 26 | 27 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 24 | 23 | 291 |
| 予防件数 | 10 | 11 | 12 | 13 | 13.5 | 12.5 | 12.5 | 12.5 | 12.5 | 12.5 | 12 | 11.5 | 145.5 |
| 介護・予防合計 | 58 | 59 | 58 | 55 | 53.5 | 53.5 | 56.5 | 56.5 | 56.5 | 56.5 | 57 | 59.5 | 679.5 |
| 認定調査 外部(4752円/件) | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 6 |

・H30年度全体の件数は、534件で前年度に比べ要介護23件減、要支援145.5件で52件増要介護と要支援をトータルにすると29件増となった。

要介護件数が減る一方で、要支援者件数は維持できた為トータル件数にすると増えているが、1人の目標件数の35件にはかなり厳しい状況。今後も話が合った案件は断ることなくサービスにつながるようにしたいと思う。

特定事業所集中減算については、訪問介護、通所介護、地域密着通所介護、福祉用具貸与の4つになった為30年度は前期、後期ともに対象から外れている為減算はなかった。

・H30年度 新規契約件数 要介護 20件 (他要介護⇒要支援⇒要介護 2件)
要支援 3件

新規契約件数は前年に比べ、要介護8件増、要支援8件減となっている。

(あんしんからの紹介が9件、ロングショート利用となる為7件、要支援から要介護が3件、利用者の配偶者2件 小規模多機能、病院から各1件)

契約終了件数 18件 (前年度は11件)

(死亡9件、入院3件、有料老人ホームへ2件、長期入所2件、他居宅へ2件)

契約件数は増えており、30年度は要介護を多く契約できた事は大きかったが、終了件数が多かった為コンスタントに増えて行く事が難しかった。死亡、入院が多く続いた年だった。終了時の対応は、家族や事業所に対し迅速に連携をとれていたと思う。

・各種研修には積極的に参加すると目標にしていたが、日々の業務に追われ研修参加が後回しになってしまった為、今後は時間を作れるように計画的に業務を行い積極的に研修に参加できるようにしたい。

・月1回の業務会議については、自分のもっている利用者で変化や問題があれば、お互い毎日報告し相談しながら情報交換、情報共有に努めていたが、月1回の会議と決めてきちんとやる事はできなかった為、今年には日にちなど決めて行い記録に残してけるようにしたい。書類に関しても、お互いの書類チェックをする事で、見落としなど確認作業を行っていききたいと思う。

・困難事例や障害の利用者の依頼があり、あんしんや市の窓口はその都度相談、確認しながら対応した。

・法改正があったが、当初は戸惑いがあったが確認しながらおこない、特に問題なくできたと思う。

平成30年度 ケアハウス事業報告書

《運営方針》

ケアハウスが居住であることを踏まえつつ、高齢者の特性に配慮した住み良い住居を提供し利用者の自主性の尊重を基本とし、利用者が明るく、心豊かに生活できるよう、配慮していくものである。

《事業目標・計画》

利用者の生活の場として安心して過ごせる環境作りを目指し、ニーズに対し速やかに対応していく。又、家族や地域との交流を持つことで協力・理解をより一層高める。

【処遇】

1. 援助計画は変化や見直しの時期が来た際、職員ミーティングで話し合い対応した。
2. 月1回の料理教室・手工芸クラブでの作品作り等企画し実施。
3. 関係機関との連絡を密にし担当者会議を行いサービスの向上に努めた。
4. アンケート調査の実施に務めたい。

【健康管理】

1. 定期的に病院に付き添い利用者が理解しにくい医師からの指示を聞き正しい情報を伝えた。又、日々の状況をデータと共に医師に伝え利用者の健康維持に努めた。特変があった際には、些細なことでも家族に伝え共有した。
2. 利用者が感染しない様に配慮し、必要なことは随時声かけした。

【防災訓練の実施】

1. 日中夜間想定 of 防災訓練実施した。利用者・職員緊急時の対応の経験を深めた。
2. 防災委員会を1ヶ月に1回開催し知識・技術を深めた。

【ボランティアの・慰問の受け入れ】

1. 受け入れを増やし利用者の社会交流の場を広げた。

【環境整備・施設整備】

1. 共有部の整備に務めた。
2. 園芸クラブとして利用者が中庭等で花を育て楽しむことが出来た。

【苦情への取り組み】

1. 苦情とならないうちに話を傾聴今後は、より一層意見の言いやすい環境を整える。

【個人情報保護】

1. 法令・規範を厳守、個人情報の保護に努めた。

《本年度の利用者移動状況》（各月1日の人数）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 男 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 女 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| 退去 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 入居 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |

《入・退居者》

8月3日女性316号室退去→8月8日男性316号室入居

8月6日男性305号室退去→9月1日女性305号室入居

《入院者》

男性 5月2日～20日 千葉メディカルセンター

男性 7月3日～10日 千葉ガンセンター

男性 7月26日～28日 みつわ台総合病院

《サービス利用状況》

| 4月現在 | | 介護保険 | | | | 介護保険外 | 障害福祉サービス | |
|------|-----|-----------|----------|------|------|--------|----------|------------|
| 介護度 | 人数 | デイサービス利用者 | 外部デイサービス | 生活支援 | 身体介助 | 通所サービス | 移動支援24時間 | 外出付き添い10時間 |
| 介護度1 | 4 | 2 | 1 | 2 | | 1 | 2 | 1 |
| 介護度2 | 5 | 4 | 1 | 5 | | | | |
| 介護度3 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 自立者 | 5 | | | | | | | |
| | 15名 | 7 | 2 | 8 | 1 | 1 | 2 | 1 |

訪問歯科 女性3名
リハビリ・マッサージ 女性1名

| 10月現在 | | 介護保険 | | | | 介護保険外 | 障害福祉サービス | |
|-------|-----|-----------|----------|------|------|--------|----------|------------|
| 介護度 | 人数 | デイサービス利用者 | 外部デイサービス | 生活支援 | 身体介助 | 通所サービス | 移動支援24時間 | 外出付き添い10時間 |
| 介護度1 | 3 | 2 | | 2 | | 1 | 2 | 1 |
| 介護度2 | 6 | 5 | | 6 | | | | |
| 介護度3 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | |
| 自立者 | 5 | | | | | | | |
| | 15名 | 8 | 0 | 9 | 1 | 1 | 2 | 1 |

訪問歯科 女性2名 男性2名
リハビリ・マッサージ 女性1名 男性1名

平成30年度 事業報告書

特別養護老人ホーム恵光園シャイニー中央
ショートステイ恵光園シャイニー中央
小規模多機能型居宅介護「ほとりの家」
恵光園シャイニー中央託児所さくら

平成30年度 社会福祉法人天光会

特別養護老人ホーム恵光園シャイニー中央 事業報告

平成30年7月1日～平成31年3月31日

【法人理念】

福祉を通じて、人との絆を深め、子供から高齢者まで、福祉に携わる地域社会を目指します。

【施設方針】

- ① 法人の経営理念に添って事業を推進する。
- ② 利用者の方々はおお客様です
- ③ お客様が安心して、普通の生活を送れるように支援します
- ④ お客様の立場に立って行動します。

【職員の心得】

- ① 職員自らが、利用したいと思えるような施設作りを目指します。
- ② 利用者の方々からのナースコールは、命綱であり即対応します。
- ③ 利用者への対応は優しく、且つ迅速、丁寧にいたします。
- ④ 職員は、常に心身の健康に心掛け、安定した和やかな気持ちで、利用者の方々に接し、良好なコミュニケーションに努めます
- ⑤ 職員は、常に利用者の方々や来園者の方々に、笑顔で礼儀正しい態度と言葉遣いで接します。

【行動方針】

- ① 恵光園シャイニー中央は、職員の各種マニュアルを完成させ、組織的な動きに支障なきようにする。
- ② 恵光園シャイニー中央は、社会福祉をめぐる外部環境の変化に対応するべく導入すべき施策計画をたてこれを実行する。
- ③ 事故は限りなく「0」に近づけていくために「プロセス」と「分析」を職員に正確にフィードバックさせていく。
- ④ 職員の行動工程で「無駄」「無理」「ムラ」のない成果主義と「報・連・相」の実践を行う。
- ⑤ 行動サイクル計画、実行、是正、見直しを行い、能率的、効果的な業務をマネジメントする。

【利用者本位】

施設だからと言って諦めない「普通の暮らし」

- ① ユニットケアの生活を優先し家庭の延長を目指す
- ② 社会福祉援助技術の基本として自己実現や自立支援のサポートサービスを提供する
- ③ お客さまの生活背景を尊重し、健康の維持増進と心身のバランスを保持して信頼関係を最優先する
- ④ フリー入浴者を支援し、いつでも入浴が可能な状態を確保する
- ⑤ 外出支援を通じて社会生活とのつながりを重視する。
- ⑥ 余暇活動を導入し自立を支援する。
- ⑦ 意見、苦情、不満、トラブルに対し、相談窓口は速やかに対応する

【地域社会との調和】

- ① 地域との交流を大切にし、常に連携を図る（地域交流室の活用）
- ② ボランティアの導入と支援を積極的に行う
- ③ 実習生の受入（淑徳大看護科学生）、介護等体験学生の受入（初任者研修事業所ゆうか）
- ④ 年間行事には常に家族や第三者委員等に参加を呼びかける
- ⑤ 地域住民や社会に対し情報を公開し恵光園シャイニー中央の理解促進をする
- ⑥ 地域の障害者の活動の一環として介護予防事業の実施の補助の参加をさせる

【職員関係】

- ① 職員全体の組織の能力向上を図り、人材育成システム等を活用し自己の能力開発と研鑽をめざす
- ② 最新介護機器を活用し、介護の軽減を図る（眠りスキャン・音声入力）
- ③ 次世代を担う中間職員の育成のための方針を確立する
- ④ 職員の専門性の向上を図る意味で外部の研修に参加させ、思考を柔軟にし、職場の活性化を方向づける
- ⑤ 個別ニーズに対応したケアプランの充実を図り、ケアプランは職員1人ひとりが立案可能となり、サービス面でもその遂行確認ができるように努力する

1. 利用者状況

長期入所・短期入所

入居稼働表、性別年齢及び入所期間別状況、利用者平均要介護度・・・別紙参照
小規模多機能型「ほとりの家」

要介護度別利用者数、要介護度別平均年齢・・・別紙参照

2. 職員状況

介護職員の採用者数

正社員・・・60名 契約社員・・・23名

看護職員の採用者数

正社員・・・7名 契約社員・・・5名

派遣介護職者数（平成31年3月末31日現在）

常勤・・・3名 非常勤・・・2名

3. 研修の開催

施設内研修・・・別紙参照

外部講師

意思決定支援と権利擁護（1月開催）

施設外研修

介護ロボットの活用・最後の時を看取るとは・雇用管理責任者講習・
有期雇用労働法・大規模災害時のエネルギー供給体制・介護ロボットフォーラム・
施設長及び事務担当者会議・施設の集団生活における感染症対策・
介護施設におけるリスクマネジメント・認知症看護研修・就職活動体験発表会・
介護のしごと相談会・医療的ケア教員講習会・接遇マナー新任職員研修・
自立型「人財」の育成ビジネス基礎

4. 会議の開催

チーフ会議・入所検討会議・献立会議

5. 委員会の開催

虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会・事故防止委員会・感染症対策委員会・
生活向上委員会・褥瘡予防委員会・労働衛生委員会・防災委員会・広報行事委員会・
親睦委員会

6. 行事

- 7月・・・すいか割り
- 9月・・・敬老会・健康寿命・お月見
- 10月・・・千葉ポートタワー・流しそうめん・焼き芋・富田さとにわ耕園・ハロウィン(託児所)
- 11月・・・千葉城
- 12月・・・クリスマス会
- 1月・・・千葉神社初詣・獅子舞・かくし芸大会
- 2月・・・バレンタインデー・陶芸教室
- 3月・・・青葉の森公園お花見・ひな祭り・お茶会
- 随時・・・外食会・食事レクリエーション・買い物・誕生会

入居稼働表(総括表)

| 稼働率 | H30/4 | H30/5 | H30/6 | H30/7 | H30/8 | H30/9 | H30/10 | H30/11 | H30/12 | H31/1 | H31/2 | H31/3 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| シャイン-中央 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 30.6% | 55.7% | 71.4% | 72.1% | 72.0% | 70.8% | 74.3% | 79.0% | 84.5% |
| 合計(平均) | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 30.6% | 55.7% | 71.4% | 72.1% | 72.0% | 70.8% | 74.3% | 79.0% | 84.5% |

| 実数 | H30/4 | H30/5 | H30/6 | H30/7 | H30/8 | H30/9 | H30/10 | H30/11 | H30/12 | H31/1 | H31/2 | H31/3 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| シャイン-中央 | 0 | 0 | 0 | 759 | 1381 | 1714 | 1788 | 1727 | 1755 | 1842 | 1770 | 2096 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 759 | 1381 | 1714 | 1788 | 1727 | 1755 | 1842 | 1770 | 2096 |

稼働率：月の実数/(入所定員×日数)×100 合計(平均)：実数の合計/(全事業者入所定員合計×日数)×100 ※稼働率と合計(平均)は小数点以下第2位四捨五入
 合計：実数の合計

※実数とは(前日の実数+当日退所数)となり、月間入所稼働率の延数の値となります。

※稼働率と実数について、処理日までの期間は実績者数を、処理日以降は予定者数を計算します。

性別、年齢及び入所期間別状況

平成31年 3月31日現在

事業所名： ユニット型特別養護老人ホーム恵光園_{サニ}-中央

| 区分 | 入所者数 人(人) | 入所期間 | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|----------|----------------|---------------|-----------|-------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | | ～6ヶ月未満 | 6ヶ月以上 ～1年未満 | 1年以上 ～5年未満 | 5年以上 ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | | | |
| ～64 | 男 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 女 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 計 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 65～69 | 男 | 1 () | 1 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 女 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 計 | 1 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 70～79 | 男 | 3 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 女 | 13 (1) | 6 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 計 | 16 (1) | 6 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 80～ | 男 | 14 () | 8 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 女 | 40 () | 13 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 計 | 54 () | 21 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 合計 | 男 | 18 () | 8 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 女 | 53 (1) | 19 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| | 計 | 71 (1) | 27 () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 平均年齢 | 男性 | 83.1歳 | 女性 | 85.6歳 | 総数 | 85.0歳 | 平均入所期間 | 男性 | 5.2ヶ月 | 女性 | 5.9ヶ月 | 総数 | 5.7ヶ月 | |

※指定日の入所者を含む入所者が対象です。指定日の退所者は除きます。
 ※()内は「認知症である老人の日常生活自立度判定基準」でランクⅡ～Mに該当する利用者の数を内数として再掲しています。

利用者平均要介護度

| 適 | 項目 | 性別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 | |
|---|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 適 | 平均要介護度 | 男 | | | | 4.0 | 3.7 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.6 | 3.8 | 3.8 | 3.7 | 3.7 | |
| | | 女 | | | | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 |
| | | 平均 | | | | 3.9 | 3.9 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 | 3.8 |

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入してしています。

入居稼働表(総括表)

| 稼働率 | H30/4 | H30/5 | H30/6 | H30/7 | H30/8 | H30/9 | H30/10 | H30/11 | H30/12 | H31/1 | H31/2 | H31/3 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| (短期) ジャレ-中央 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 20.3% | 74.5% | 72.7% | 79.5% | 74.7% | 70.3% | 69.4% | 69.6% | 69.7% |
| 合計(平均) | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 20.3% | 74.5% | 72.7% | 79.5% | 74.7% | 70.3% | 69.4% | 69.6% | 69.7% |

| 実数 | H30/4 | H30/5 | H30/6 | H30/7 | H30/8 | H30/9 | H30/10 | H30/11 | H30/12 | H31/1 | H31/2 | H31/3 |
|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| (短期) ジャレ-中央 | 0 | 0 | 0 | 126 | 462 | 436 | 493 | 448 | 436 | 430 | 390 | 432 |
| 合計 | 0 | 0 | 0 | 126 | 462 | 436 | 493 | 448 | 436 | 430 | 390 | 432 |

稼働率：月の実数/(入所定員×日数)×100 合計(平均)：実数の合計/(全事業者入所定員合計×日数)×100 ※稼働率と合計(平均)は小数点以下第2位四捨五入
 合計：実数の合計

※実数とは(前日の実数+当日退所数)となり、月間入所稼働率の延数の値となります。

※稼働率と実数について、処理日までの期間は実績者数を、処理日以降は予定者数を計算します。

利用者平均要介護度

| 項目 | 性別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 平均要介護度 | 男 | | | | 3.2 | 3.7 | 3.5 | 3.7 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.0 | 3.0 | 3.5 |
| | 女 | | | | 3.3 | 3.2 | 3.0 | 3.1 | 3.3 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 2.9 | 3.1 |
| | 平均 | | | | 3.2 | 3.4 | 3.2 | 3.2 | 3.4 | 3.1 | 3.2 | 3.0 | 2.9 | 3.2 |

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。 (注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

要介護度別利用者数 (スケジュール)

| 適 | 要介護度 | 性別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|--------|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| 適 | 非該当 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 事業対象者 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 合計 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要支援 1 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要支援 2 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 経過的要介護 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護 1 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護 2 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護 3 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護 4 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護 5 | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| | 総合計(人) | 男 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | |
| | 合計 | | | | | | | | | | | | | | |

(注1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

要介護度別平均年齢

| 適 | 要介護度 | 性別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 | |
|---|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 適 | 非該当 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 事業対象者 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要支援1 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | 87.42 | 87.50 | 87.58 | 87.75 | 87.83 | 84.83 | 84.83 | 87.75 | 87.75 | 87.67 | 87.75 | 87.60 | |
| | | 平均 | | 87.42 | 87.50 | 87.58 | 87.75 | 87.83 | 84.83 | 84.83 | 87.75 | 87.75 | 87.67 | 87.75 | 87.60 | |
| 適 | 要支援2 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 経過的要介護 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護1 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | 90.50 | 90.58 | 90.67 | 90.75 | 90.75 | 90.83 | 90.83 | 90.83 | 90.83 | 90.75 | 90.83 | 90.67 | |
| | | 平均 | | 90.50 | 90.58 | 90.67 | 90.75 | 90.75 | 90.83 | 90.83 | 90.83 | 90.83 | 90.75 | 90.83 | 90.67 | |
| 適 | 要介護2 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護3 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護4 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 平均 | | | | | | | | | | | | | | |
| 適 | 要介護5 | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | 87.92 | 88.00 | 88.08 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.08 | 88.17 | 88.08 | 87.48 | |
| | | 平均 | | 87.92 | 88.00 | 88.08 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.17 | 88.08 | 88.17 | 88.08 | 87.48 | |
| 適 | 総合計(人) | 男 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 女 | | 90.50 | 87.93 | 87.39 | 87.06 | 87.06 | 87.06 | 87.06 | 87.06 | 87.39 | 87.06 | 87.06 | 83.82 | 86.96 |
| | | 平均 | | 87.88 | 87.60 | 87.54 | 87.18 | 87.18 | 87.18 | 87.18 | 87.18 | 87.54 | 87.18 | 87.18 | 85.78 | 87.45 |
| | | 平均 | 88.60 | 87.72 | 87.48 | 87.48 | 87.77 | 87.77 | 87.77 | 87.77 | 87.72 | 87.48 | 87.77 | 85.00 | 87.27 | |

(注1) 各月の平均年齢は、各月末時点の年齢より算出してしています。(注2) 小数点以下第3位を四捨五入してしています。

平成30年度 事業報告書

みどりが丘 保 育 園

平成30年度 社会福祉法人天光会 みどりが丘保育園 事業報告

○通常保育

・利用者数

| 0歳児 | 1歳児 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 5歳児 | 計 |
|-----|------------|-----|------------|-----|
| 16 | 60 | 34 | 71 | 181 |

・事業内容

内科検診・歯科検診・・・嘱託医による年2回検診
 誕生会・身体測定・・・毎月1回
 避難訓練・・・・・・・・・・毎月1回
 歯みがき教室・・・・・・・・年2回歯科衛生士による指導

○病後児保育

・年間利用者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|-----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|--|
| 利用者 | 25 | 34 | 6 | 22 | 16 | 10 | | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
| 利用者 | 17 | 20 | 13 | 13 | 9 | 15 | 200 | |

○一時年間利用者数

・年間利用者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|--|
| 利用者 | 75 | 57 | 60 | 100 | 65 | 69 | | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
| 利用者 | 76 | 82 | 60 | 64 | 73 | 74 | 855 | |

○子育て支援

・年間利用者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--|
| 利用者 | 143 | 132 | 187 | 192 | 172 | 154 | | |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
| 利用者 | 221 | 185 | 168 | 126 | 91 | 79 | 1850 | |

・イベント

『たまごタイム(0歳児・1歳児対象)』・・・親子のふれあい、リズム遊び。簡単な製作や、同年齢児との遊び。
 『ひよこタイム(2歳児からを対象)』・・・親子で製作、手遊び、体操。簡単なゲームにも参加し同年齢児と活動する。
 『青空広場』・・・近隣の大きな公園や、自治会館を利用し活動する。
 『誕生会』・・・園の誕生会に参加し、誕生児にはお祝いカードをプレゼント。
 『身体測定』・・・月1回身体測定を行い、つくしんぼカードに記入。
 『交流会』・・・近隣のセンターと月1回程度意見交換を行う。

平成30年度 行事予定

みどりが丘保育園

| | 行事内容 | 場所 | 備考 |
|-----|---|-------------------------------------|---|
| 4月 | 2日(月) 進級式 9:30~ 19日(木) ・乳児保護者会17時~18時 20日(金) ・幼児保護者会17時~18時 | 遊戯室 遊戯室 遊戯室 | |
| 5月 | 2日(水) ・子どもの日サークル 10日(木) ・春の遠足(あじさい)※弁当持参 11日(金) ・春の遠足(こすもす)※弁当持参 16日(水) ・保育参加(幼児) ☆保護者参加行事 18日(金) ・遠足予備日(こすもす) 25日(金) ・春の遠足(ひまわり)※弁当持参 | 遊戯室 ※予備日なし ※歯磨き教室含む ※予備日なし | 市バス9:00~12:00 市バス9:00~12:00 市バス9:00~12:00 |
| 6月 | 7日(木) ・健康増進活動~からだのがっこう~ 11日(月)~26日(火) ・保育参観(乳児) ☆保護者参加行事 12日(火) ・内科検診 22日(金) ・6月のイベント(人形劇団KAI) 27日(水) ・避難訓練(不審者対応) 28日(木) ・歯科検診 | 遊戯室 ※フリー参観型 遊戯室 遊戯室 遊戯室 | 5歳児のみ 東金警察署指導 |
| 7月 | 6日(金) ・七夕まつり 11日(水) ・プール開き&カッパ祭り 13日(金) ・夏祭り ☆保護者参加行事 | 遊戯室・園庭 園庭 園庭 | |
| 8月 | 夏季保育 | | |
| 9月 | 5日(水) ・引き渡し訓練 ☆保護者参加行事 7日(金) ・健康増進活動~からだのがっこう~ 12日(水) ・9月のイベント(交通安全教室9:50~11:00) 18日(火) ・敬老会(5歳児のみ) | 遊戯室 遊戯室・園庭 恵光園 | 5歳児のみ 市バス9:00~12:00 |
| 10月 | 6日(土) ・運動会 ☆保護者参加行事 (対象:こすもす・ひまわり・あじさい・たんぽぽ・ちゅうりっぷ) 12日(金) ・秋の遠足(こすもす)※弁当持参 23日(火) ・秋の遠足(ひまわり)※弁当持参 22日(月) ・遠足予備日(こすもす) 26日(金) ・保育参加(たんぽぽ・ちゅうりっぷ) 親子ふれあい運動会(対象つぼみ・わかば・ふたば) 24日(水) ・秋の遠足(あじさい)※弁当持参 30日(火) ・内科検診 | 大網小学校体育館 ※予備日なし 園庭 ※予備日なし | 市バス9:00~12:00 市バス9:00~12:00 市バス9:00~12:00 |
| 11月 | 1日(木) ・11月イベント(チーバ君と遊ぼう) 9日(金) ・保育参加(幼児) ☆保育参加行事 5日(月)~21日(水) ・個人面談(幼児) ※別紙参照 22日(木) ・収穫祭(乳児幼児)※幼児が焼き芋を行う 20日(火) ・消防訓練 29日(木) ・歯科検診 30日(金) ・収穫祭(子育て支援センターつくしんぼくらぶ) | 遊戯室 ※子育てと乳児が焼き芋を行う | 消防署立ち入り |
| 12月 | 3日(月)~19日(水) ・個人面談(乳児) ※別紙参照 18日(月) ・あずみ吹奏楽団 24日(月) ・クリスマス会 ※12月29日(土)~1月3日(木)休園 | 遊戯室 | |
| 1月 | 10日(木) ・お正月お楽しみ会 17日(木) ・健康増進活動~からだのがっこう~ | 遊戯室 | 5歳児のみ |
| 2月 | 1日(金) ・節分 2日(土) ・発表会 ☆保護者参加行事 6日(水) ・地域交流会 21日(木) ・歯みがき教室 22日(金) ・卒園遠足(5歳児のみ)※弁当持参 26日(火) ・新入園児説明会 | 遊戯室 遊戯室 遊戯室 ※予備日なし 遊戯室 | 市バス9:00~15:00 |
| 3月 | 1日(金) ・ひな祭り 12日(火) ・お別れ会 22日(金) ・卒園式 ☆保護者参加行事 13日(火) ・お別れ会 23日(金) ・卒園式 ☆保護者参加行事 | 遊戯室 遊戯室 遊戯室 遊戯室 | |

毎月1回・・・身体測定・避難訓練

*バスの予約状況により予定が変更になる場合があります。

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○特別保育事業報告

特別保育リーダー 大木 将
 一時保育 黒上 由美子
 子育て支援センター 若菜 由希子
 中川 真理
 病後児保育 丹 典子

*一時保育事業

□事業方針

育児疲れや待機児童といった利用者の需要の多様化に伴い、一時保育のあるべき姿も変化しつつある中で、各家庭及び児童個人個人に添った対応を心掛け、支援を必要とする全ての家庭に合った支援を目指す事を目的とする。

□事業目標

多種多様な需要に、利用者の立場に立って考え、利用者が求める芯の部分を追求め、保育士の専門性を活かした対応を図る。

□年間実績報告

利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------|------|------|------|------|-----|------|------|
| 目標人数 | 63 | 54 | 57 | 88 | 88 | 68 | 66 |
| 稼働日数 | 20 | 21 | 21 | 21 | 23 | 18 | 22 |
| 定員 | 4 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 |
| 実績人数 | 75 | 57 | 60 | 100 | 65 | 69 | 76 |
| 稼働率 | 94% | 67% | 71% | 119% | 70% | 95% | 86% |
| 目標達成率 | 119% | 105% | 105% | 113% | 73% | 101% | 115% |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | 計 |
| 目標人数 | 66 | 75 | 75 | 69 | 85 | | 854名 |
| 稼働日数 | 21日 | 18日 | 18日 | 19日 | 19日 | | 241日 |
| 定員 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 | 4名 | | 48名 |
| 実績人数 | 82 | 60 | 64 | 73 | 74 | | 855名 |
| 稼働率 | 98% | 83% | 89% | 96% | 97% | | 89% |
| 目標達成率 | 124% | 80% | 85% | 105% | 87% | | 100% |

【実績報告】

- ・散歩の実施(園外保育)

【現時点での達成したこと】

- ・春には様々な虫や花々、秋には枯れ葉やどんぐり、冬は霜柱や水たまりにはった氷などに触れ風やにおい五感で、四季を感じる事ができた。
 - ・近隣でも散歩(園外)に行くことで、気分転換ができた。散歩に行けることを喜び、楽しみに登園する子が増えた。
 - ・散歩を継続し行うことで、子どもたちの歩行がしっかりしてきた。
 - ・散歩に行くことで、様々なものに興味を持つようになり、保育者と言葉のやりとりをしながら言葉の発語につながったり、楽しいコミュニケーションをとることができた。
- 少人数だからこそ、子どもたちの興味につきあい、寄り添う時間がもてた。

【今後の課題】

- ・広い場所でおもいきり身体を動かして発散できるように遊ぶ。
- ・交通ルールを学び、楽しく散歩する。

【反省・感想】

子どもたちと散歩をしながら興味に共感し、一緒に感動したり、発見したり、驚いたり楽しむことができた。
 触れて・見て・聞いて・感じてという経験をたくさんできたのではないかなと思う。
 異年齢であることから、行き先を考慮したがその都度、基準をどこにおくか難しかった。
 散歩を継続し行うことで歩行がしっかりし、体力もついてきたと思う。

* 子育て支援センター ～つくしんぼくらぶ～

□事業方針

市内子育て支援センターと連携を図りながら、利用者のニーズを素早く察知し、地域の子育て支援に尽力を尽くす。

□事業目標

利用者とのコミュニケーションを密にとり、ニーズに合った支援と地域に密着した空間の提供を図る。

□年間実績報告

利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------|------|------|------|------|------|-------|------|
| 目標人数 | 94名 | 99名 | 129名 | 180名 | 145名 | 142名 | 158名 |
| 稼働日数 | 20日 | 21日 | 21日 | 21日 | 23日 | 18日 | 22日 |
| 定員 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 |
| 実績人数 | 143名 | 132名 | 187名 | 192名 | 172名 | 154名 | 221名 |
| 稼働率 | 68% | 62% | 89% | 91% | 74% | 85% | 100% |
| 目標達成率 | 152% | 133% | 144% | 106% | 118% | 108% | 139% |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
| 目標人数 | 161名 | 113名 | 117名 | 129名 | 127名 | 1594日 | |
| 稼働日数 | 20日 | 18日 | 19日 | 19日 | 10日 | 243日 | |
| 定員 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 10名 | 120名 | |
| 実績人数 | 185名 | 168名 | 126名 | 91名 | 79名 | 1850名 | |
| 稼働率 | 93% | 80% | 60% | 43% | 34% | 73% | |
| 目標達成率 | 115% | 149% | 108% | 71% | 62% | 117% | |

(実績報告)

ベビーマッサージ

トウモロコシの皮むき(園行事参加)

水遊び

子育て支援センター前の芝生整備(遊具購入)

遊戯室で遊ぼう

(現時点での達成したこと)

- ・ベビーマッサージをきっかけに来園してくれた親子が他のイベントにも参加してくれるようになった。
- ・様々なイベントを行うことで、毎月楽しみながら親子で参加してくれていた。
- ・子育て支援センター前の芝生を整備することで、遊具を設置し遊べるようになった。室内以外にも芝生でも遊べるので、利用者も気分転換に遊ぶ子が多くいた。
- ・遊戯室利用時が、梅雨や夏場の暑い時期だったので、年齢の低い子も過ごしやすい環境の中で遊べていた。
- ・子ども達にとって初めて経験する機会を設けることができた。

(今後の課題)

ベビーマッサージなど、資格を必要とするイベントの場合、通年で行えるよう計画していく。

また、代わりとなるイベントを事前に考えておく。

お父さんや妊婦さんも参加できるイベントを設け、幅広い人たちに子育て支援センターを利用してもらえるようにしていく。

(反省・感想)

保育士が年度途中で変わってしまい利用者との信頼関係が築けなかった。

園の感染症流行で来園できないことが多かったので、流行した場合、何人以上の感染で利用者に連絡するかを前もって決めとく必要があると思った。

様々なイベントを設けることで、多くの利用者が参加してくれた。0歳児の参加者が多くいたので、

* 病後児保育事業

□ 事業方針

児童の病気が回復期にあり集団生活が困難な期間において一時的に預かり保育を実施する事業として児童が安心して安静に生活できる環境を提供する。

□ 事業目標

児童にとって安静に生活出来る事を最優先とした空間と対応を心掛ける。

□ 年間実績報告

利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
| 目標人数 | 3名 | 5名 | 5名 | 5名 | 6名 | 11名 | 4名 |
| 稼働日数 | 20日 | 21日 | 21日 | 21日 | 23日 | 18日 | 22日 |
| 定員 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 |
| 実績人数 | 25名 | 34名 | 6名 | 22名 | 16名 | 10名 | 17名 |
| 稼働率 | 41% | 53% | 9% | 34% | 21% | 18% | 25% |
| 目標達成率 | 833% | 680% | 120% | 440% | 250% | 90% | 425% |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | 計 |
| 目標人数 | 7名 | 10名 | 8名 | 10名 | 6名 | | 80名 |
| 稼働日数 | 20日 | 21日 | 21日 | 21日 | 23日 | | 252日 |
| 定員 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | 3名 | | 756名 |
| 実績人数 | 20名 | 13名 | 13名 | 9名 | 15名 | | 200名 |
| 稼働率 | 33% | 21% | 21% | 14% | 22% | | 26% |
| 目標達成率 | 286% | 130% | 130% | 90% | 250% | | 250% |

<実績報告>

・病後児保育年間利用者、2年連続200人達成

<達成したこと>

・体調不良時や病欠明け時等に病後児保育の利用を促すことで、同症状や感染症の拡大防止につながったのではないかと思います。

・定員が3名と少人数なので、家庭的な雰囲気やゆったりと過ごせるように工夫し、コミュニケーションを密にとることができた。

・回復期にある児が対象なので、個々の体調や気温・天気等を考慮し、普段あまり行く機会のない園舎の周り等を散策したり、利用者がいない時を見計らって子育て支援センターや一時保育の部屋で遊んだりして、気分転換を図ることができたと思う。

また、その児に必要な時には午睡を長めにとったり、食事を軟らかめにしてもらったり、個々の症状や体調に合わせた対応ができた。

・咳や熱後など様々な症状や病気の回復期にある児を受け入れるため、利用者同士で症状がうつらないよう、空気清浄機を常に使用。特に乾燥時や咳・鼻水がみられる時などには加湿機能も併用し、症状が少しでも軽減するように工夫することができた。

また、低年齢児が利用した時には、おもちゃ等を口に入れてしまうことが多いため、チャームストを使い、その都度消毒し他児に症状がうつらないよう気をつけることができた。

今後の課題

・保護者説明会などで、病後児保育利用の利点をわかりやすく明確に説明し、もっと利用しやすいようにする必要がある。

※病後児保育の利点

・個々の症状や様子に合わせての対応ができる。

・早めに利用することで、安静を確保し症状の悪化を防ぐことができ、仕事を休まなければいけない状況を避けやすい など

・体調が悪く、欠席したり病院受診をした時には病後児保育を使ってもらえるように声をかけたりする。

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○栄養課事業報告

栄養士 池田 智子
栄養課リーダー 齋藤 美加

□事業方針

保育園生活で意欲を持って食に関する体験を行い、食べる事を楽しみ合える様衛生と安全を心掛けた給食提供・食育活動を行う。

□事業目標

年齢別また、特に乳児は個々の成長や発達に合わせ子どもが無理することなく自然と食への興味や関心が持てるよう保育者、家庭と連携をとりながら食育、給食提供をする。

□年間実績報告

- ・昼食の給食提供ではレトルト食品は極力使わずに旬の食材を取り入れた手作りで乳幼児が必要としている栄養価を考慮したバランス良い献立作成を行った。また、噛む力を育てる為、かたさ・やわらかさや食材の切り方にも工夫した。
- ・離乳食では個々のご家庭で1度試して問題がない食材を聞き取り、連携を取りながら、月齢だけではなく、1人1人の成長に合わせた離乳食作りを行った。
- ・おやつ提供では、昼食で補えない栄養価の他に子ども達の嗜好も取り入れ、長い時間を保育園で過ごす子ども達にとって楽しみの1つになるよう、心掛けた。
- ・食物アレルギー疾患を持つ子どもには『保育園生活における生活管理表』と任意で『血液検査結果のコピー』を提出していただき、アレルギー原因食の除去、及び代替食の提供に誤飲誤食がないよう、専用食器、プレートを使用しながら事故防止に努めた。

(年齢別・その他)

①0歳児

子どもが慣れている哺乳瓶を家庭から持参していただき、調乳を行った。
毎回哺乳瓶専用の洗浄スポンジ、洗剤で洗い、滅菌をして衛生を保った。
上記に記した通りの離乳食提供を行った。

②1～2歳児

主食、副食給食の完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施した。

③3歳以上児

主食、副食給食の完全給食に加え、15時におやつを実施した。
(但し、毎月主食費1000円を徴収させていただいた)

④おやつ

週に2～3回、手作りおやつを実施した。
土曜保育、延長保育時の捕食を実施した。

⑤食育活動

- ・全年齢を通して、食事マナーの指導を行った。
- ・『食』に興味関心を持てる環境作りとし、園庭裏に畑を作り、夏野菜栽培を行った。
- ・乳児クラスでは、野菜スタンプや野菜の皮むき、おにぎり屋さんや焼きうどん屋さんごっこを行い、職員が目の前で調理するなど、食への興味を促した。
- ・3歳以上児を対象に年間食育計画に基づいた季節毎のクッキング活動を行った。特に年長児は今までの経験を生かし、夏野菜を使った野外クッキング、保育参加では親子クッキング、レストランごっこを実施した。
- ・職員宅の畑で収穫したさつま芋を使用し、園庭裏の畑にて焼き芋をメインとした収穫祭を行った。

⑥給食会議

毎月1回、園長、保育士が参加し栄養士、調理師を中心に普段の食事の様子や食育計画、マナー指導などの会議を行った。

⑦地域貢献

子育て支援センターにて、栄養士による『離乳食について』の講演と、給食試食会、食事相談、焼き芋大会を実施した。

□反省

- ・年度初めに年齢別食育年間指導計画を制作し、基本的には計画に基づいて各クラス実施することが出来ていたと思う。但し、野菜の栽培に関しては指導計画とは別で行っているクラスもあり、異年齢同士の話合いが必要だったように思う。
- ・年長児が行う保育参加での『レストランごっこ』では、3回目ということもあり、職員同士協力しながら、慌てることなく進めることが出来たが、昨年度は兄弟児が多いクラスでもあったため、例年とは異なり急遽下のクラスの兄弟児が参加してきたりと、把握しきれないこともあったため、混乱する場面が生じた。今後は臨機応変に対応出来るよう、経験を生かしていきたい。

□その他

- ・2019年度より、食育関係での収支を正確に把握するため、会計報告書を作成。来年度以降会計報告書を参考にしながら、必要以上の経費がかからないように予め予算をたてていく。

平成30年度 社会福祉法人天光会 みどりが丘保育園 事業報告

○苦情報告

・保護者からの苦情・要望9件

- ① 平成30年5月
保護者駐車場に、駐車ラインを無視して無謀な止め方をしている保護者がいると訴え有り。
駐車場のマナーある使用を心掛けるよう注意喚起してほしいとの事。
対応
後日、全保護者に注意喚起を行い、15:30～16:10位の時間帯に職員が駐車場に立ち、見守りを行った。
- ② 平成30年6月
戸外遊び中に怪我をしたことを報告受けたが、経緯が説明できなかったことに、保育士は遊具について子どもを見ていないのか？と指摘を受ける。
対応
戸外遊び中の職員配置について改善策を話し合う。
(1)戸外に出た際、職員が目が行き届くようにしたうえで、遊び方を再度確認する。
(2)環境設定を行ってから、子ども達を誘導する。遊べる範囲を縮小し、遊べる遊具も限定して、必ず1人以上職員を配置する。
(3)幼児クラスの職員間で連携を密にとる。
後日、話し合った内容を保護者に説明し今後同じことが無いよう気を付けていく事を伝える。
- ③ 平成30年7月
特定の保育士に、朝伝えたはずなのに、迎え時に聞いていなかったようなそぶりをされた。引渡し時も、毎回のように今日も元気で変わりなかったとしか報告を受けず、子どもの日中の様子がわかりづらい。保育士によって対応が違う。→子どもを預けていて不安(不信感)
対応
特定の保育士に事実確認。本人に指摘されたことについての記憶が曖昧な事と、保護者対応については、自分なりに努力しているつもりだった。
後日、園長、主任、副主任、本人同席のもと、不信感を与えてしまった事への謝罪と、貴重なご意見として、重く受け止める旨を伝える。また、保育士本人も今後努力していく事を伝える。保護者からは、当保育士に頑張してほしいという想いから、指摘したと伝えられる。保育士への指導を見直す機会とする。
- ④ 平成30年7月
園児が持参する、水筒の中身に熱中症対策として、イオン飲料を入れて持たせたい。
対応
園で行っている熱中症対策を伝える。
イオン飲料の子どもに対するメリット・デメリットを全保護者にお便りで伝え、それを把握した上で、期間を決め自己責任で中身をイオン飲料にしても可とする。
- ⑤ 平成30年8月
フッ化物洗口が始まり、うがい用のコップと引水用のコップ別の物を準備してもらおうようお願いしたところ、面倒だから、ひとつでいいか？との指摘。
対応
歯科衛生士の指導のもと、衛生上コップは別にした方が良いと保護者に伝える。
- ⑥ 平成30年10月
子育て支援センターの毎月の予定表(つくしんぼだより)が公開日に保育園のHPに掲載されていなかったと、利用者から指摘。
対応
担当職員での連携を密に取り、掲載漏れの無いように気を付ける。

- ⑦ 平成31年1月
発表会に参加できる保護者が一家庭2名までというアナウンスが遅いとの指摘。
対応
年度初めに保護者に配る年間行事予定表に、備考欄に人数制限がある行事に関しては、その旨を記載する。
12月下旬ころに配布する、発表会のおしらせの中に、人数制限の旨を記載する。
今後の対応を保護者に伝え、貴重な意見をいただいたことを感謝する。
- ⑧ 平成31年2月
市の所有する大型バスの利用規約の関係上、当初予定していた卒園遠足の目的地が葛西臨海公園から千葉市動物公園に変更したことに対して、年中組の時に一度、案として出た経緯もあり年中で行こうとしていたところに何故年長で行くのか？バスは有料バスに変更できないか？去年の年長組が行った、鴨川シーワールドじゃ駄目なのか？他の人も変更したことに不満を持っている人がいると思うので、説明してほしい。
対応
後日、園長、主任同席のもと、変更した経緯と動物公園にした理由を説明。
クラスの前に、変更の経緯を「おしらせ」として掲示。
職員間で話し合い、来年以降の遠足について、先を見通しその年齢に応じた内容を考えていく。
予備日を設定し、目的地の選択肢を増やす。事前の計画として目的地を遅くとも12月までに決める
- ⑨ 平成31年2月
一時保育利用者の靴が紛失。靴を一足しか持っていないため、見つかるまで帰れないとの事。
間違えて持って帰ってしまった、保護者がわかり、保育園に持ってきてもらう事になったが、5分位車で待ってもらっていたが、保護者から明日取りに来るので今日は帰るとの報告を受け帰宅する。
翌日靴を取りに来園。返却する。
対応
一時保育専用の下駄箱を設置し、全職員に周知。

平成30年度 社会福祉法人天光会 みどりが丘保育園 事業報告

○怪我報告

・病院受診した怪我報告8件

- ① 平成30年5月 1歳児
テラスで遊んでいたところ、別の子どもが扉を開け閉めしてしまい、指を挟んでしまう。
冷やして様子を見るが、翌日あざがひどくなってきたので病院受診。
レントゲン撮影で骨折は無かった事を確認。内出血が取れるまでは一か月くらいかかる
との事。
- ② 平成30年5月 2歳児
テラスで水筒を立ち飲みしていたらそのまま転び、飲み口に歯をぶつけ出血。
歯茎から出血、内出血も見られたため、歯科受診。脱臼している可能性
1ヶ月様子観察
- ③ 平成30年5月 1歳児(子育て支援センター)
室内滑り台の階段に唇をぶつけ、2~3センチの傷。
看護師が応急処置。その後、保護者が病院受診。
- ④ 平成30年6月 5歳児
他の園児とぶつかり、右目の下が腫れる
氷のうで患部を冷やし様子観察。母迎え後、整形外科受診。レントゲン、CT異常なし。
- ⑤ 平成30年6月 3歳児
園庭固定遊具(滑り台)下で泣いているところを発見。口腔内から出血有り。
母親お迎え後、歯科受診。レントゲン異常なし。しばらくは、固いものを食べないようにと
診断される。園でも対応。
- ⑥ 平成30年7月 5歳児
午睡準備中に他園児の後頭部に口をぶつけ歯茎から出血。
保護者迎え後、歯科受診。歯のぐらつきあるが、そこで物を噛まないようにすれば大丈夫
との事。
- ⑦ 平成30年8月 5歳児
室内遊び中他園児とぶつかり、口腔内から出血。
氷のうで冷やしたのち、歯科受診。レントゲン異常なし。
- ⑧ 平成31年1月 3歳児
室内活動中に、他園児の指が目に入ってしまう。
しばらく様子を見たが、充血が引かないため眼科受診。視力検査等行う。
当たった部分が白目部分だったため、特に問題ないとの事。

○人材育成

(職員育成実施)

- ・園内研修の計画を作成し取り組む。
- ・危機管理、安全対策、保育の充実などの研修に取り組む。
- ・自己の職務を知り、他者や他の業務を担う職員との交流を持つ場や園全体に保育力の向上が波及するように研修と実践が結びつくよう検討する。
- ・研修後には新たな気づきや感想など感じたことを各自記録し、文章力の向上を養う。

(園内研修)

- ・上記の職員育成実施に基づき、5月～2月全10回、職員による園内研修を実施した。

- 第1回 5月 理学療法士による『幼児期のからだの仕組み』
- 第2回 6月 『接遇マナー』『乳児保育研修』
- 第3回 7月 『準職員研修』『保育内容実技研修』
- 第4回 8月 『保育内容実務研修』『保育内容研修』
- 第5回 9月 『保育内容実技』『給食内容研修』
- 第6回 10月 『感染症・嘔吐処理』『AED使用方法』
- 第7回 11月 『保育事例』『考察』
- 第8回 12月 『体育実技研修会』『子育て支援センター』
- 第9回 1月 『ほめ方・叱り方』『ボランティアコーディネーター』
- 第10回 2月 『保育士懇談会』『年間評価・反省新年度に向けて』

(園外研修)

- ・上記の職員育成実施に基づき、職員の自己啓発や必要性に合わせて職員派遣を行った。
- ・参加した職員は研修報告書を提出し、園内研修の際に発表する機会を設けた。

(メンター制度) 新人職員教育

- ・新卒者1名 他2名 派遣社員1名 入職
- ・メンターを新卒者1名に配置。
- ・入職後1か月の間保育士ノートに今日の目標・反省・明日の課題を記入した上でメンターに提出。目標に基づいた保育を心掛け、メンターはそれに対してのアドバイスや指導を行う。
- ・新人指導には、メンターが中心となり、指導内容等の状況は、園長・主任・各リーダーに報告、相談を行う。

○実習・職場体験等の受け入れ

- ・大網中学校 職場体験2日間実施
- ・大網小学校2年職場見学 1日実施
- ・千葉経済大学短期大学部1年次生1名 2週間実習
- ・共立女子大学4年次生1名 2週間実習
- ・和洋女子大学2年次生1名 2週間実習
- ・東京成徳短期大学2年次生1名 2週間実習
- ・千葉子ども専門学校ボランティア2名
- ・中学生ボランティア 5名
- ・小学生ボランティア 13名
- ・高校生ボランティア 1名
- ・保護者ボランティア 2名

○目標とねらい

- ①次世代の保育者を育てるためにも、積極的に取り入れていく
- ②実習内容も子どもの理解を中心にすえて取り組む
- ③小学校・中学校の職場体験も積極的に受け入れていく
- ④ボランティア団体などを利用しイベントを行い、地域との連携をとっていく

○反省

- ・H30年度は、卒園児の夏休みを利用した小学生ボランティアが多数訪れた。小学1・2年生に関しては、体力面も考慮し午前中のみ保護者が送迎できる家庭のみとした。小学3年生以上の学生に関しては、特に規制は無し。1日のボランティア人数は4名までとした。予想より多くのボランティア希望者がいた為、調整を行った。今後も受け入れをしていく予定なので、現場が混乱しないようコーディネートしていきたい。
- ・実習生の育成に取り組むべく担当保育士の指導法にも目を向け、指導する側の育成にも力を入れる。また、オリエンテーションのあり方を考え直し、実習生にとってよりわかりやすいものへの提案をしていきたい。
- ・養成校担当職員との連携を図り、実習生の実習しやすい環境づくりに努力する。

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○幼児教育事業報告

幼児教育リーダー 加藤岡 聖子

□事業方針

- ◎異年齢交流を積極的にし思いやりを育む。
- ◎友達と協力して一つの事をやり遂げ責任感や達成感を味わう。
- ◎四季折々の活動を通し生活習慣やルール、モラルを身に付けていく。

□事業目標

やさしい子

- ◎人に優しく、自分や友達を大切にする。

がんばる子

- ◎自分で考え行動し、自分の事は自分でできる。

げんきな子

- ◎ルールを守って外で元気に遊ぶ。

□年間実績報告

| 月日 | 行事 | 場所 | 5歳児 | 4歳児 | 3歳児 | 評価・反省 |
|----------|-----------|------------------|-----|-----|-----|---|
| 4月2日 | 入園式 | 遊戯室 | ◎ | | | ・最高学年の意識を持ち取り組めた。 |
| 5月10日 | 春の遠足 | 中央公園 | | | ◎ | ・初めての遠足で気持ちが高揚したが楽しめた。 |
| 5月11日 | 春の遠足 | 内山農園 | ◎ | | | ・自分達で苗を植え収穫までを楽しみにしていた。 |
| 5月25日 | 春の遠足 | 昭和の森 | | ◎ | | ・保育者や友達とたくさん体を動かし遊べた。 |
| 5月16日 | 保育参加 | 幼児保育室・遊戯室 | ◎ | ◎ | ◎ | ・親子でフッ化洗口について学ぶことができた。 |
| 6月7日 | 第1回健康増進活動 | 遊戯室 | ◎ | | | ・身体機能評価をし、自分の体を知った。 |
| 6月8日 | 時の記念日 | 幼児組保育室 | ◎ | ◎ | ◎ | ・各年齢時計に興味を持つ事が出来た。 |
| 7月11日～ | プール | 園庭 | ◎ | ◎ | ◎ | ・事故もなく水遊びを楽しめた。 |
| 7月13日 | 夏まつり | 園庭・室内 | ◎ | ◎ | ○ | ・今年は神輿を作り夏祭りを親子で楽しめた。 |
| 8月25・26日 | お化け屋敷ごっこ | 遊戯室 | ◎ | ◎ | ○ | ・自分の考えを提案し友達と協力してごっこ遊びを取り組むことが出来た。ハロウィンでもお化け遊びをしたので続いているので他の遊びを提案した方が良いのではという意見があがった。 |
| 9月18日 | 敬老会 | 恵光園 | ◎ | | | ・お年寄りと親しみを持ち交流ができた。 |
| 9月6日 | 第2回健康増進活動 | 遊戯室 | ◎ | | | ・理学療法士による足型測定ができ、自分の体に興味をもてた。 |
| 10月6日 | 運動会 | 大網小学校体育館 | ◎ | ◎ | ◎ | ・親子で運動会を楽しめた。また、最後まで頑張ったことで達成感を持ち自信に繋がった。 |
| 10月12日 | 秋の遠足 | 内山農園 | ◎ | | | ・友達と土まみれになり収穫し、食べ物に興味関心が持てた。農家の人の苦勞が分かり感謝の気持ちも持てた。 |
| 10月23日 | 秋の遠足 | 東金こども科学館 | | ◎ | | ・雨で遠足先が変更になり臨機応変で活動できた。 |
| 10月24日 | 秋の遠足 | 中央公園 | | | ◎ | ・遠足を楽しめたが体力が弱い事が課題となった。 |
| 10月29日 | ハロウィンごっこ | 遊戯室 | ◎ | ◎ | ◎ | ・英語に触れられる機会を設けた。地域交流担当と連携して外国人の方を呼んで世界に興味を持てるような活動を取り組んでみたい。 |
| 11月9日 | 保育参加 | 幼児組保育室 ランチルーム | ◎ | ◎ | ◎ | ・親子でクッキングや製作を行ったり、普段の活動をする事が出来保護者も良かったようだ。 |
| 12月5・6日 | お店屋さんごっこ | 幼児組保育室 | ◎ | ◎ | ○ | ・異年齢交流を楽しみ、年上として自分なりに責任を持って活動できた。 |
| 1月17日 | 第3回健康増進活動 | 遊戯室 | ◎ | | | ・初めての試みだが、理学療法士による体のがっこうは好評だった。保護者も関心を持てた。 |
| 1月23日 | 小学校見学 | 大網小学校 | ◎ | | | ・初の幼稚園との合同見学だったが、連携を図りながらスムーズに活動できた。 |
| 2月2日 | 発表会 | 遊戯室 | ◎ | ◎ | ◎ | ・同じ目標を持ち友達と協力し取り組むことができた。 |
| 3月 日 | お別れ会 | 遊戯室 | ○ | ◎ | ○ | ・進級への期待を持ち年中児が主体的に取り組めた。 |
| 3月20日 | 卒園式 | 遊戯室 | ◎ | ○ | ○ | ・感謝の気持ちを持ち、式に参加することが出来た。 |

□反省

【今後の課題】

・キャリアアップ研修で学んだことが活かされきれていないので、今後保育に出せるように積極的に取り組めるようにしたい。

また、共通理解ができるよう自分が学んできたことを他の職員に教える機会を作り、より良い保育をつくっていけるようにしていきたい。

・もっと外部の方との交流を広げられるよう他の専門機関との関りを更に持ち今後行っていきたいと思う。

【その他・感想】

・今回幼児教専門ということはどう進めていくのかを難しく考えてしまったが、手探りながら子どもたちが主体的に活動できることを意識し保育していけるように心掛けた。

・四季折々の活動を行ってきたが、ひとつひとつ子ども達の成長を感じることができた。そのことを、他の職員と共感し合い、また次の活動に移りねらいを持って取り組めることが出来たのではと思う。

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○保育実務事業報告

保育実務リーダー 森 亜矢子

□事業方針

子どもの最善の利益を守るという立場に立って、子どもの虐待を防止し全ての子どもが健やかに育つために誰もがつながり合う社会を目指し、子育て家庭の子どもと親を様々な方法で連携しながら支援する。

□事業目標

- ・児童虐待についての知識を正しく学ぶ。
- ・一人ひとりの子どもの人権が守られるよう虐待のサインに気づき支援機関と情報共有し連携しながら支援していく。
- ・保護者の子どもへの関わり方(言葉かけ・接し方)について考え、適切に行う。

□年間実績報告

- ・活動方針、年間目標、年間活動方針に従い児童虐待について防止対策についてまとめた文書、虐待の事例を各クラスに配布し、情報共有した。
- ・毎日の保育の中で一人ひとりの子どもの変化を把握すること・子どもたちへの声かけ・関わり方を見直すこと等についてその都度会議の中で伝えた。
- ・各クラスから気になる子・親について出してもらい^④扱いにして職員間での情報共有にした。(ファイルにはさんである。)
- ・虐待防止委員会を6月に開き、リーダーでの話し合いを行う。意見交換をした。
- ①子どもへの呼び捨て、あだ名について
子どもに対して呼び捨てはしない。あだ名も使わない。名前がフルネーム等で分けられるよう工夫して呼ぶことになった。
- ②食事の際、食べようとしない子に対して口に入れてしまう行為、外遊びの際の水分補給等、年齢にもよるが、魚スープ等少しずつでも食べられるよう工夫する。無理やり食べさせるのはダメ。口元に持っていき、様子を見ながら楽しい雰囲気の中行う。
水分補給は座って取る。
- ・虐待防止のためにポスターを乳児棟、幼児棟に掲示し職員室、タイムカードの上に貼る。ポスター、オレンジリボン運動についての内容を知らせる。児童相談所、全国共通ダイヤル(189)についても保護者、職員間での周知を図る。
- ・昨年度の虐待件数について掲示。
- ・気になる子・親について9月に子育て支援リーダー・療育リーダー合同会議を開く。
- ・全国保育士会の作成したチェックリストを全職員にやってもらい、集計する。
結果を配り、全職員での情報共有。
自分の保育へのふりかえりを行う良い機会になった。その後、子どもへの声かけ、関わりが丁寧になり、配慮がみられた。虐待の種類・内容などについて正しく学ぶことができた。

□反省

- ・保育士の意識に違いがあり、しつけの一環と考えて保育者の意識も麻痺して虐待の連鎖が生じやすい。
- チェックリストの行ったが、年に1回ではなく、年2、3回行う方が良いと思う。
- ・各リーダーと連携をしながら気になる子・親について話し合いをしたが、後半忙しくなかなか時間が取れなかった。
- ・研修等で学んだことを伝えるようにしたが、つたえるような場や機会がもっとあると良いと思った。
- ・日々の保育に追われてしまう中で何を大事にするかを考え、子ども主体の保育・子どもを尊重する保育を行えるようになっていきたい。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○保育実務事業報告

保育実務リーダー 大手 加代

□事業方針

- ・子どもの心身の安全な保育環境を確保する為園児の健康状態、活動場所や内容に留意し職員の共通理解と体制づくりを行う。

□事業目標

- ・保育環境を見直し、子ども達の過ごしやすい安全な環境を提供する。

□年間実績報告

・毎月のヒヤリハット・事故報告

4月

園周辺の危険箇所見直し、対策

主に保護者駐車場ゴミや金具撤去、階段下滑りとり

5月

全国保育所怪我、死亡事故件数、内容を報告。同様の事故がないよう呼びかけ。

ヒヤリハットも担当が書くのではなく発見し危ないと感じたら記入、全体に周知し対策を考えるよう呼びかける。

6月

午睡チェック導入。水遊び、プールでの注意点をまとめ事故の内容促し

7月

6月に導入した午睡チェック表について各クラス意見を聞き見直し再度配布。午睡中の危険、事故について全体で確認できた。

8月

引き続き水遊び、プールについて注意するよう呼びかける。

熱中症について対策、対応をまとめ配布。

9月・10月

各クラスのアレルギー対応をまとめ再度確認。

11月・12月

ネームプレート強化について考え12月～1月中に改めるよう対応する。

SIDSチェック強化期間を促す。

1月

ネームプレートを必ず付けての登降園をするよう改めて保護者に促す。また忘れてしまった場合、身分証の提示、仮のプレートを渡し不審者対応も強化した。

誤飲・誤嚥になりそうな玩具を各クラスに聞く。

2月

引き続きネームプレートについて呼びかけを各クラスで呼びかけてもらう。

各クラスの誤嚥・誤飲の危険になる玩具が上がったので資料もまとめ配布予定。

3月

誤嚥・誤飲についての資料配布。特に合同保育での注意を呼びかける。

□反省

係としては呼びかけや資料配布が多くなってしまった。もっと現場の対策をしていければよかった。事故防止として研修にも行かせてもらい保育現場での危険について改めて考えることが出来た。研修でも言っていたが保育現場にいる人の意識が大切だとのことなので自分自身も子どもたちが安全に生活できるよう対策、対応していきたいと思う。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○保健衛生・療育事業報告

保健衛生・療育リーダー 野末 陽子
サブリーダー 丹 典子

□事業方針

療育

- ・子ども達一人ひとりに対して同等に児童にとって最善の利益を保証する為に「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「参加する権利」の観点から個々に生じた課題に対して積極的に関与していく。
- ・「子ども達の育ちを支える力」を向上させるための保護者支援も各専門機関と連携しながら各家庭にあった支援を行っていく。

保健衛生

- ・子ども達が快適な生活(発育・発達に適した生活)を送り、健康で安全に過ごせるようにしていく。また、生理的欲求が満たされ、健康増進が図れるようにしていく。
- ・職員が心身ともに健康で、より良い保育が提供できるよう心掛ける。

□事業目標

療育

- ・気になる子・療育を必要とする子・障害を持った子の状態を把握し、心地よい生活を送れるよう支援する。その為、園全体の専門知識を高め、より専門的な連携を図る。

保健衛生

- ・子ども達の心身共に健やかな育ちを見守り支える。

□年間実績報告

療育

- ・教育支援ネットに行ったり、保健師が来園した際に情報交換を行った。
- ・研修の中で学んだ「発達障害について」をまとめてファイルにはさんだ。
- ・「気になる子」の様子を書く書式を作り、ファイルにクラスごとにはさんだ。また、その後の変化も書けるようにした。(定期的にクラスの様子を聞いたり、他の係の先生と情報交換と共通理解が図れるようにした。)

保健衛生

- 1) 感染症の拡大防止を最小限に防ぐため、①保護者へ感染症についての知識や情報の発信
②感染症拡大時、保健所へ連絡をし、指導・アドバイスを受ける③職員間の情報共有と周知
④欠席連絡票を作成し、個々の体調の経過の把握⑤ジアイーノ導入(生命保険会社による「子育てと仕事の両立支援に対する助成活動」助成金への申請、プレゼン→当選)
- 2) 虫歯予防①4・5歳児フッ化物洗口開始にあたっての保健指導②2歳児への歯みがき指導
③年長児へ卒園後のフッ化物洗口すすめの手紙の配布
- 3) SIDS予防…チェック表の見直しと作成

□反省

療育

- ・気になる子を各クラスになかなか聞きに行けなかったり、実際に見たりすることができなかった。
- ・保健師さんとの関わりも少なかった。

保健衛生

- ・職員の健康面への配慮や意識が低かった。
- ・保健衛生面の活動だけで余裕がなく、療育面に関わることが全くできなかった。

□その他

療育

- ・もっと他クラスや保健師さんとの関わりを持ち、こまめに情報交換できればよかった。また、きりん教室に通っている園児も数名いるので、見学や連携をとればよかった。
- ・気になる子と障害の判別がつかない際の支援方法を考えるのが難しいと感じた。

保健衛生

- ・定員が多いので感染症をゼロにすることは不可能だが、感染の拡大を最小限にするよう対応していく必要性を痛感した。その必要性を他の職員にも理解してもらいながら、情報を共有し、意見を聞き、無理のないよう協力してより良い保健衛生活動を行っていけるように心掛けていきたいと思う。

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○地域交流推進・ボランティア事業報告

地域交流推進・ボランティアリーダー 大木 将
サブリーダー 山口 聡子

□事業方針

地域との様々な関わりを持つことで、地域密着を図り開けた保育園を目指す。

□年間目標

- ・地域の方との関わりの機会を多く持つ。
- ・様々な活動をしていく中で地域と共存する。
- ・地域でのイベントの参加、来訪等をし世代間交流をはぐくむ。

□年間実績報告

- 5月 ・27日 ゴミゼロ運動(資料参照)
みどりが丘の地域の方々と一緒にゴミ拾いに参加。
- 6月 ・森保育士の父、野添浚平さんと9/22のきらら祭りについての打ち合わせ、
地域のイベントについての話を聞いた。
- 7月 ・保護者に向けて「きらら祭りの参加用紙」の掲示、職員向けに恵光園「夏祭り
ボランティアの募集」を掲示。(資料参照)
- 8月 ・26日 恵光園夏祭りボランティアの参加
出店の手伝い、利用者の援助、片付け
・荒木児の母(きらら祭り代表者)と、きらら祭りについての打ち合わせをした。
- 9月 ・22日 きらら祭りに参加
子どもたちとお神輿を担ぐ、アンパンマン音頭を踊る。
参加者に飲み物、竹とんぼかバツタの置物のお土産を渡す。
- 10月 ・きららクラブの方から竹とんぼ、バツタの置物を頂く。こすもす組に寄付。
- 11月 ・地域交流推進委員会での経過をファイルにまとめる。
- 12月 ・地域交流推進委員会での経過をファイルにまとめ、職員ロッカーにて閉じた。
- 2月 ・地域交流会で事前準備と受付に取り組んだ。

□反省

- ・学校関連(学生ボランティア)の計画も立てていたが、方向性も違った為
実際に取り組む事ができなかった。
- ・1年間活動を行ってみて少し形が出来たような気がした。
今年をベースにしてより深い地域交流の考えが持てるようにしていきたい。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○保育実践・実技事業報告

保育実践・実技リーダー 市東 すずか
サブリーダー 佐藤 将太

□事業方針

食育

- ・畑の管理から始まり、苗植え、栽培、収穫を子ども達自らの手で感じふれあうことで、食物を口にするまでに様々な苦勞と、生命の大切さと、食すことの喜びを体感してもらい、食に対する意欲を育む。

実技

- ・年齢や行事、季節に応じた運動を保育に取り入れ、体を動かすことの大切さ、意欲を育む。

□年間目標

食育

- ・食を通じて、自分も含め、すべての命を大切に作る心強さを養う。

実技

- ・子ども達が体を使って遊ぶ事の楽しさを味わえるような活動を展開していく。

□年間実績報告

| | |
|---------|--|
| 4月～5月 | 幼児組の保育士とどのように栽培するか話し合い、計画 内山保育士父から意見を参考に畑作り 除草、苗植え(幼児、2歳児) |
| 7月～8月 | 内山家 さつまいも畑草取り こすもす組保育士とキャンプについて話し合い、環境整備 こすもす組キャンプ参加 |
| 9月～10月 | 内山家 さつまいも畑草取り 幼児棟裏、除草、除草シート張り |
| 11月～12月 | 収穫祭 環境整備 幼児棟裏、除草シート剥がし、除草剤まき |
| 1月～3月 | 幼児棟裏の活用について各クラスから意見をもらい話し合う |

□反省

- ・子どもたちによって、食に関心がある年もあれば、そこまで食に関心がない年など様々である。グループごとに栽培すると愛着が湧き、栽培に対して興味をもつのではと思うので、その年その年で話し合っても良いと思って。
- ・今年度、畑(食育)、運動の2つで活動してきた。しかし「保育実践」というと、幼児教育や環境も関わってくるので、もっと大きくみてよいのではと思った。
- ・食育、運動係りとわかれていたが、一緒に取り組めるときは取り組むようにした。
- ・自分自身の見通しが持たず、四苦八苦してしまった。反省や課題を今後活かしていけるようにしていく。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○環境衛生事業報告

| | |
|----------|--------|
| 環境衛生リーダー | 斎藤 美加 |
| 園内環境係 | 當間 紗也加 |
| 園庭遊具係 | 鈴木 花波 |
| 茶菓子係 | 畔上 美咲 |
| 園外周係 | 花井 さやか |
| 絵本係 | 小林 玲子 |

□事業方針

衛生的かつ安全に保育園生活を送れるよう、園全体の環境を良くする。

□事業目標

・各担当分担を明確にし、それぞれの役割を果たせるよう職員間で協力し合う。

□年間実績報告

- ・毎月末に会議(その月の活動報告、翌月の活動予定等)
- ・倉庫の片づけ、整理整頓
- ・園外周の環境整備(園舎外壁、駐車場、危険箇所等)
- ・週1回遊具点検、月1回の遊具個数チェック、砂場消毒
- ・職員休憩用のバリスタ管理、発注
- ・絵本管理、修理、購入、整理整頓
- ・花壇の手入れ、季節の花植え
- ・乳児、幼児棟玄関に季節の花を飾る
- ・除草作業、蜘蛛の巣除去

□反省

- ・今年度からの活動で手探り状態で始めたが、会議を行ったりして何をどうすれば良いか、係りで話し合いながら進めていくことが出来た。
- ・係りによっては負担が偏ってしまうところもあったが声掛けをし、協力して行うことが出来た。
- ・係りだけでは出来ない事も職員全体の協力があったからこそ取り組むことが出来たと思う。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○保護者・子育て相談事業報告

保護者・子育て相談リーダー 内山 奈美
サブリーダー 橋本 さやか

□事業方針

- ・保護者の悩みや疑問を引き出しやすい環境を作り、傾聴し子ども達が健やかに育つ為の支援をする。

□事業目標

- ・気軽に相談できる環境づくりを行い、園全体で相談内容の共通理解を図る。
- ・市内の子育て支援センターの存在を知ってもらい、その活動や取り組みを紹介していく。

□年間実績報告

- ・市内の子育て支援センターの予定を毎月、それぞれの玄関に貼り出す。
- ・本園の支援センター(つくしんぼくらぶ)の子育て相談に参加する。(橋本)
- ・H30年度4月のクラスだよりに、気軽に相談してもらえるよう内容を掲載する。
- ・H30年8月6日(月)「保護者の理解と対応」～保護者とより良い関係を築くために～
(内山・橋本)
8月7日(火)「相談支援の基本ーかかわり・聴く技法ー」(内山)
上記の研修に参加する。
- ・H30年7月24日(火)子育て支援センター担当者交流会に参加し、各支援センターの子育て相談の状況を聞くことができた。
- ・市内の子育て支援センターの紹介パンフレットの作成。
- ・保護者の相談記録の記録用紙の作成。見本の作成。
- ・虐待防止係、療育・保健衛生係と一緒に気になる子、気になる親をまとめる。
たんぼぼ組・ちゅうりっぷ組・あじさい組を担当する。

□反省

- ・保護者に悩みを気軽に相談できる場があることを知らせたり、子育て支援課や市内の各支援センターと連携が取れたことはよかった。
- ・連絡帳や個人面談などで相談された内容をまとめ、相談が多いものに対しての園としての考え方や回答をある程度決めておくことで対応した保育者によって意見が大きく異なるようにできればよいと思う
- ・こちらからの働きかけで何ができるのかを考えるのが難しかった。子育て支援センターを活用してもらえるようにすることと、相談をしてもらいやすい環境を作ることに重点を置いて始めていったが、それだけでは、保護者の相談は引き出せないと感じた。普段からの保護者対応での話しやすさと、そこからその相談に対してどのように答え、共有していくかが必要だと思う。

□その他

平成30年度 みどりが丘保育園 事業報告

○人材マネジメント・防災事業報告

人材マネジメント・防災リーダー 木内 稔充
サブリーダー 本間 美祐

□事業方針

人事マネジメント

- ・モチベーション 従業員満足度の向上
- ・人材不足への対応及び人材採用を円滑に行い子ども達にとってより良い保育を提供できる環境設定を行う。

防災

- ・有事の際に全ての職員が適切な対応をとることで、園児の安全を確保する。
- ・有事に備えた、訓練の計画を立て、災害の恐ろしさや訓練の大切さを学ぶ。

□事業目標

人事マネジメント

- ・ワークバランスの安定
- ・人材育成

防災

- ・命を守る事の重要性とその方法、連携を職員全体で話し合い共通理解を深める。
- ・園児自身が安全のための訓練を理解し、自ら進んで参加できるようにする。

□年間実績報告

- ・人材不足の対応及び人事採用を行い園児や利用者の為に施設強化と業務改善実施。
新卒採用1名 中途採用2名
- ・定期的な職員獲得の為、養成校などと連携をとり3校の就職説明会に参加。
- ・処遇改善が新たに施行せられ給与面等でベースアップされ職員のモチベーション向上につなげる
助成金の申請、園児数の確認、運営費の確認調整。
- ・働き方改革の取組み。アンケート調査を実施。働き方を職員と共に見直し、効率性と簡略化をめざし今後も取り組んでいく。
- ・修繕対応。ケガ防止対策。
- ・ICT導入準備
- ・毎月の防災訓練実施。訓練後の反省を活かしおおくの災害パターンに対応できるようにする。
避難リュックやさすまた、管理表を作成し配布。定期的チェックを実施。照明設置。
不審者対応としてアンケート調査し外、中用のマニュアル作成し各クラス掲示。

□反省

現職の人材や中途、新職の確保が難しく深刻な問題だと感じています。今年度は反省を活かし出来るだけコストは抑えつつ月1程度で職員確保につながる営業回りをします。養成校の説明会参加をはじめ就職担当者への訪問。安定所との連携を強化します。また、実習生やボランティアの受入から入職へと繋がるよう検討、相談し導線を構築していきたいです。

□その他